

第37回那須塩原市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日時 令和6(2024)年3月18日(月)午後6時30分～8時40分
- 2 場所 西那須野庁舎301～303会議室
- 3 議題

(1)令和6年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の利用定員について

(2)保育施設等の巡回支援事業について

(3)第3期子ども・子育て未来プランに係るこどもの意見聴取について
- 4 その他

第3期那須塩原市子ども・子育て未来プランの策定について

今後のスケジュールについて

令和5(2023)年度子育て相談課概要について
- 5 出席者 委員：17名、事務局：10名、株式会社ぎょうせい3名 計30名

【委員】

佐藤委員、中野委員、君島委員、刈屋委員、大倉委員、秋間委員、戸田委員、佐久間委員、大平委員、後藤委員、白澤委員、西田委員、八木澤委員、柴田委員、浅香委員、石田委員、佐藤委員

【事務局】

(子ども未来部) 田代部長

(子育て支援課) 押久保課長、亀田補佐、高野係長、小川主査

(子育て相談課) 菊地課長、瀧補佐

(保育課) 佐藤課長、吉富補佐、鍋島係長

発言者	内 容 (要旨)
事務局	1 開会 第37回那須塩原市子ども・子育て会議を開会する。
	2 あいさつ 子ども未来部長より挨拶
	3 議題 (1)令和6年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の利用定員について
事務局	資料1により説明
会長	質問・意見等はあるか。
	(特になし)
	(2)保育施設等の巡回支援事業について

事務局	資料3により説明
会長	質問・意見等はあるか。
委員	巡回支援に関し現場の負担が増えると感じる。市としての基準を示していただきたい。保育士以外のコンサル、大学教授等専門家による巡回が良いのではないか。
事務局	監査とは別の取り組みであり、普段の保育の状況等を確認させていただき、より良い事例等を共有したい。作業療法士、理学療法士等の活用は現時点では検討していない。ニーズを確認して検討していきたい。
委員	巡回支援事業は法制化されているものではない、ということで間違いないか。
事務局	法的な指導ではなく助言等を行うものである。
委員	子育て会議内で日程を示していただき、委員も訪問に同行する、ということではどうか。
事務局	専門家の力も借りていくことを検討したい。
委員	先にアンケート調査等で要望や問題点を浮き上がらせるのはどうか。
委員	不適切保育の具体例を多く示していただきたい。多岐に渡る独自性が高い保育が私立にある。それに見合う知見を有する公立の保育士がいらっしゃるのか。
委員	那須塩原市で不適切事例があったのか教えていただきたい。
事務局	市としてあがってきた事例はなく、未然に防ぐ、という取り組みである。委員の同行についても今後検討していく。
委員	成長過程の中で苦しんでいる保育士がいる。園長と保育士との間でギャップが生じていることもある。外から風を吹かせることが可能な取り組みではないか。
(3)第3期子ども・子育て未来プランに係るこどもの意見聴取について	
事務局 (ぎょうせい)	資料4により説明
会長	質問・意見等はあるか。
委員	学校に繋がっている、と思うと本音は言いたくないのではないか。学校の外で子どもが集まるフェスティバル等において、親よりも若い学生世代等が入ると本音が出やすいのではないか。子ども食堂等は施設関係者等が近くに

	ることが大事であるとする。
委員	子ども食堂、放課後児童クラブだと意見聴取の範囲が狭いと感じる。普段子どもに携わっている方（例 所属するサッカークラブのコーチ等）の意見聴取が本音に近づけるのではないかな。
委員	個人が特定されないように配慮いただきたい。
	4 報告事項 (1)令和6年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の入園申込状況について
事務局	資料2により説明
会長	質問・意見等はあるか。
委員	学童保育の待機児童数は把握されているか。
事務局	現時点において公設クラブはキャンセル待ちが7名、民設クラブは6名である。同じ方が含まれるかどうかは集計中であるため把握していない。1年生から6年生までの全体の数字である。
	(2)「生活実態調査」及び「ニーズ調査」について
事務局	資料5により説明
会長	質問・意見等はあるか。
委員	自由記述が宝物だ、という意見もある。自由記述について反映や報告をお願いしたい。
事務局	最後にしっかりと報告させていただく。
	(3)那須塩原市こども家庭センターの設置について
事務局	資料6により説明
会長	質問・意見等はあるか。
委員	学校教育課との連携はどのように進めていくつもりなのか。
事務局	教育委員会と虐待対応等で情報共有をしながら連携を図っている。学童保育の方は都度連携・共有を行っていききたい。
委員	本当の意味での情報共有化を図ることができるのか。市長が先頭に立って旗を振るくらいの覚悟をもってやっていただきたい。
委員	表に出にくい情報も含め共有が課題である。成果・課題が今後具体的に共有

	できるようにこども家庭センターに注目していきたい。 (4)その他
会長	事務局から何かあるか。
事務局	特になし。
	5 その他
事務局	事務連絡 その他、質問意見等あるか。 (特になし)
	6 閉会
	以上で、第37回那須塩原市子ども・子育て会議を閉会する。 以上